

(3) 骨材

新潟県

記事提供：(一社)新潟県砂利碎石協会

新潟県における令和5年度7月～9月期の骨材需給は、全体的に、大型物件も少なく、公共、民間共に需要は低調な状態が続き、県計では、対前年同期比で、出荷量で15%減、生産量は17%減となった。

地区別に前年同期比を見ると、上越地区では、出荷量は27%減、生産量で29%減、中越地区は、出荷量が14%減、生産量で17%減、下越地区は、出荷量で9%減、生産量で10%減、佐渡地区は、出荷量、生産量ともに11%減となった。

富山県

記事提供：富山県土石業協同組合連合会

富山県における令和5年7月～9月期の骨材の需給は、前年同期に比べて、県全体では出荷量は12%減、生産量は17%減と、出荷量、生産量とも前年度を下まわった。また、前期（令和5年度4月～6月期）比では、出荷量は増減なし、生産量は8%減となった。

地区別の前年同期比では、東部地区は出荷量が13%減、生産量が20%減、西部地区においては出荷量が11%減、生産量が16%減となった。

9月末在庫量は、前期末（令和5年6月末）より、東部地区では8ポイント減に、西部地区では20ポイント減に、県全体では13ポイント減となった。

石川県

記事提供：石川県骨材協同組合連合会

石川県における令和5年度7～9月期の骨材（県内産）の需給状況は、今期も回復傾向が続き3期連続の増加となった。県計全体の出荷量は前年同期と比べて2%の増加となった。

7～9月期の地区別の出荷量の比較では、加賀地区は陸砂利・川砂利が今期も回復基調が続いたことから前年同期比で2%の増加となった。一方、能登地区は低調であった前期からやや持ち直し、前年同期とほぼ同量の横ばいの出荷となった。

その今期の出荷量の内訳を見ると、加賀地区については、主要生産地である手取川扇状地産の陸砂利と川砂利は、その主要な需要先である生コン業者向けの出荷において、大口需要の金沢地区が今期も振るわず15%の減少となった。一方、南加賀地区はこれまでの回復基調が更に伸長し、今期は前年同期比で74%の増加となった。なお好調が続いていたアスファルト合材業者向けの出荷は、今期は伸び悩み前年同期比で4%の減少となった。以上を総じて、今期の加賀地区における手取産陸砂利と川砂利の全体の出荷は、前年同期比で2%の増加となった。

なお路盤材を主体とする加賀地区の山碎石は、大型物件のない中で健闘しているものの、前年同期比で1%の減少となった。

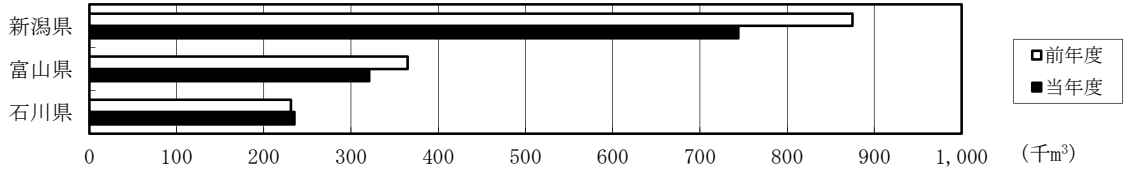
一方、能登地区（山碎石）については、今期は前年同期とほぼ同量の出荷となったものの、この地区の出荷は県外からの流入材に押されて量的に少ない上に、昨今の需要の縮小化が状況を更に深刻化させており、依然としてこの地区の地場産業者の経営環境は、極めて厳しい状況にある。

生産量については、加賀・能登地区共に平時は概ね出荷量に合わせた生産体制をとっているが、今期は加賀地区で在庫調整が進んだことから、県計では前年同期比で1%の減産となった。

在庫量は、加賀地区の積み上がり状況がやや解消されたことから、県計全体の前年同期比では9%の減量となった。

上半期（令和5年4～9月）の累計では、出荷量は県計で前年度上半期と比べて3%の増加となった。一方生産量は1%の減産となった。また在庫量は9%の減量となった。

骨材出荷量の推移（7月～9月期）



(単位：千m³、%)

| 県 | 地区 | 区分 | 令和4年度 年計 | 令和5年度 | | | | 累計 |
|-----|-----|-----|-------------|------------|-------------|------------|-------|--------------|
| | | | | 4月～6月 | 7月～9月 | 10月～12月 | 1月～3月 | |
| 新潟県 | 上越 | 出荷量 | ▲13 667 | 9 185 | ▲27 156 | | | ▲11 341 |
| | | 生産量 | ▲13 679 | ▲1 188 | ▲29 151 | | | ▲16 339 |
| | | 在庫量 | 9 143 | ▲4 145 | ▲7 140 | | | ▲7 140 |
| | 中越 | 出荷量 | ▲3 940 | 0 225 | ▲14 262 | | | ▲8 487 |
| | | 生産量 | 962 | ▲10 237 | ▲17 259 | | | ▲13 496 |
| | | 在庫量 | 7 320 | ▲1 332 | ▲4 329 | | | ▲4 329 |
| | 下越 | 出荷量 | ▲3 1,207 | ▲7 278 | ▲9 294 | | | ▲8 572 |
| | | 生産量 | 4 1,226 | ▲4 299 | ▲10 307 | | | ▲7 606 |
| | | 在庫量 | 3 729 | 4 749 | 3 763 | | | 3 763 |
| | 佐渡 | 出荷量 | ▲23 137 | ▲24 26 | ▲11 32 | | | ▲17 58 |
| | | 生産量 | ▲26 131 | ▲31 25 | ▲11 33 | | | ▲21 58 |
| | | 在庫量 | ▲12 137 | ▲20 28 | ▲19 29 | | | ▲19 29 |
| | 県計 | 出荷量 | ▲6 2,951 | ▲2 714 | ▲15 744 | | | ▲9 1,458 |
| | | 生産量 | ▲3 2,998 | ▲6 749 | ▲17 750 | | | ▲12 1,499 |
| | | 在庫量 | 4 1,221 | 1 1,254 | ▲1 1,261 | | | ▲1 1,261 |
| | 富山県 | 東部 | 出荷量 | ▲5 632 | ▲10 138 | ▲13 137 | | |
| 生産量 | | | ▲7 632 | ▲19 130 | ▲20 130 | | | ▲19 260 |
| 在庫量 | | | 3 100 | ▲12 91 | ▲23 84 | | | ▲23 84 |
| 西部 | | 出荷量 | ▲5 805 | ▲13 182 | ▲11 184 | | | ▲12 366 |
| | | 生産量 | ▲4 814 | ▲7 199 | ▲16 172 | | | ▲11 371 |
| | | 在庫量 | 31 42 | 58 60 | 41 48 | | | 41 48 |
| 県計 | | 出荷量 | ▲5 1,437 | ▲12 320 | ▲12 321 | | | ▲12 641 |
| | | 生産量 | ▲5 1,446 | ▲12 329 | ▲17 302 | | | ▲15 631 |
| | | 在庫量 | 10 142 | 6 151 | ▲8 132 | | | ▲8 132 |
| 石川県 | 加賀 | 出荷量 | ▲2 920 | 6 222 | 2 233 | | | 4 455 |
| | | 生産量 | 0 922 | 0 218 | ▲1 231 | | | ▲1 449 |
| | | 在庫量 | 1 144 | ▲7 140 | ▲12 138 | | | ▲12 138 |
| | 能登 | 出荷量 | 15 15 | ▲67 1 | 0 2 | | | ▲40 3 |
| | | 生産量 | 29 18 | ▲50 2 | 0 2 | | | ▲33 4 |
| | | 在庫量 | 50 9 | 43 10 | 43 10 | | | 43 10 |
| | 県計 | 出荷量 | ▲1 935 | 5 223 | 2 235 | | | 3 458 |
| | | 生産量 | 1 940 | ▲1 220 | ▲1 233 | | | ▲1 453 |
| | | 在庫量 | 3 153 | ▲5 150 | ▲9 148 | | | ▲9 148 |

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県

会 員102社のうち102社

富山県

会 員86社のうち86社

非会員 1社のうち 1社

石川県

会 員21社のうち21社 (委託加工業者含む)

非会員16社のうち9社

(本データは、陸砂利・川砂利及び山砕石の数量である。)